Philologie de la civilisation japonaise

Cours du 2 avril 2013

- Les poèmes sur les dieux du *Shin-Kokin-shû* - *(suite)*

- Robert H. Brower, « Ex-Emperor Go-Toba’s Secret Teachings : *Go-Toba no in Gokuden* », *Harvard Journal of Asiatic Studies*, 32, 1972, p.5-70.
- Robert N. Huey, *The Making of Shinkokinshû*, Cambridge, Harvard University Asia Center, 2002.
- Michel Vieillard-Baron : « Voix croisées : la compilation du *Shinkokin waka shû* à travers les témoignages de deux protagonistes », *Extrême-Orient, Extrême-Occident*, 2003, vol. 25, p. 55-80.

- **1871** 摂政太政大臣

大将に侍りける時、勅使にて太神宮にまうでゝよみ侍ける

神風やみもすそ河のそのかみに
契しことのすゑをたがふな

- 慈円

以是本因縁 今說法華經

50. 見ぬむかしはるかにむすふいはしろの
松の契もいまやとくらむ

- 1872　　藤原定家朝臣

おなじ時、外宮にてよみ侍ける

契ありてけふみやがはのゆふかづら
　　　　　　ながきよまでもかけてたのまん

- **1873**　読人しらず

公継卿、勅使にて太神宮にまうでゝかへりのぼり
侍けるに、斎宮の女房の中より申をくりける

うれしさも哀もいかにこたへまし
　　　　　　　　ふるさと人にとはれましかば

- **1874**　春宮権大夫公継

　　返し

神風やいすゞ河浪かずしらず

　　　　　　　すむべきみよに又かへりこん

- **1875**　太上天皇

太神宮のうたのなかに

ながめばや神ぢの山に雲きえて

ゆふべのそらをいでん月かげ

- **1876**

神かぜやとよみてぐらになびくしで

かけてあふぐといふもかしこし

- **1877**　西行法師

題しらず

宮ばしらしたついはねにしきたてゝ
　　　　　　　　　つゆもくもらぬ日のみかげ哉

- **1878**

神ぢ山月さやかなるちかひありて
あめのしたをばてらすなりけり

- **1879**

伊勢の月よみのやしろにまいりて、月を見てよめる

さやかなるわしのたかねの雲井より
かげやはらぐる月よみのもり

- **1880**　前大僧正慈円

神祇哥とてよみ侍ける

やはらぐるひかりにあまるかげなれや

　　　　　　　　いすゞがはらの秋のよの月

- **1881**　中院入道右大臣

公卿勅使にてかへり侍ける、いちしのむまやにてよみ侍ける

たちかへり又も見まくのほしきかな
　　　　　　　みもすそがはのせゞの白浪

- **1882**　皇太后宮大夫俊成

入道前関白家百首哥よみ侍けるに

神風やいすゞのかはの宮ばしら

いくちよすめとたちはじめけん

- **1883**　俊恵法師

神風やたまぐしの葉をとりかざし

うちとの宮に君をこそいのれ

- **1884**　越前

五十首哥たてまつりし時

神かぜや山田のはらのさかき葉に
心のしめをかけぬ日ぞなき

- **1885**　大中臣明親

社頭納涼といふことを

いすゞ河そらやまだきに秋の声
したついはねの松の夕風

- **1887**　法印成清

八幡宮の権官にてとしひさしかりけることをうらみて、御神楽の夜まいりて、さかきにむすびつけ侍ける

さかき葉にそのいふかひはなけれども

神に心をかけぬまぞなき

- **1891**　前大僧正慈円

十首哥合の中に、神祇をよめる

君をいのる心のいろを人とはゞ
たゞすの宮のあけの玉がき

- **1900**　前大僧正慈円

最勝四天王院の障子に、をしほ山かきたる所

をしほ山神のしるしを松の葉に

ちぎりしいろはかへる物かは

- **1901**

日吉社にたてまつりける哥の中に、二宮を

やはらぐるかげぞふもとにくもりなき

もとの光はみねにすめども

- **1902**

述懐の心を

わがたのむなゝのやしろのゆふだすき
かけてもむつの道にかへすな

- **1903**

をしなべて日よしのかげはくもらぬに

なみだあやしき昨日けふかな

- **1904**

もろ人のねがひをみつのはま風に

心すゞしきしでのをとかな

- **1905**

北野によみてたてまつりける

さめぬればおもひあはせてねをぞなく

心づくしの古の夢